

# 巻頭言

北海道支部支部長 杉浦 忍

絆のページをめくっていただき、ありがとうございます。

今回の地震・停電・断水と、皆様におかれましてもたいへんな時を経験された事と存じます。被害にあわれた方々に、悲しみの内にある方々に、黙祷をささげる事しかできない私がおります。お許してください。

さて、患者である私達は、避難するにも停電の中で過ごす事もひとりでは何もできないと改めて示された感があります。行政の対応も含めて声をあげる必要も感じました。自らできる準備もありそうです。今後に備えていきたいです。

私が願うことは、同じ病の内にある皆さまの声を聞かせていただきたいのです。

今私はこんな毎日です、こうしたいがいかがなものか？と問い合わせてください。私が詳しい訳ではありませんが、スタッフがお答えできるはずです。先輩の工夫してをお伝えできると思います。どうぞ遠慮なくご利用くださいませ。

進行の様子はそれぞれですが、いつもその時をより快適に過ごせませうように。

ひとりでできないから、誰かのお世話になります。本当に感謝です。ご家族さまのご苦勞を思うと、頭を下げて感謝するしかありません。お仕事で携わっておられる方々にも、もちろん感謝です。その患者さまとのご関係が、よりこころの通ったものとなりますように、願うばかりです。どうぞ私達患者を支えてくださいませ。ほんの少力で良いですので優しいこころで接してくださいませ。

どうぞ皆さまご自愛下さい。